



2015年8月11日

ニュースリリース

シリコンラボ、最小ジッタのネットワーク同期装置クロック IC の新製品「Si5348」を発表 Si5348により、インターネット・インフラストラクチャにおける SyncE および IEEE 1588 ネットワーク同期の 全面採用が可能に

インターネット・インフラストラクチャ・アプリケーション向け高性能タイミング・ソリューションの大手サプライヤであるシリコン・ラボラトリーズ（本社：米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下：シリコンラボ）は、パケット・ネットワーク同期装置クロック IC の新製品「Si5348」を発表しました。Si5348 は、クラス最高のジッタ性能ならびに業界最小クラスの実装面積と最小電力を、規格に準拠した高集積ソリューションで実現します。Si5348 によって、ハードウェア設計者はワイヤレスおよび電気通信インフラストラクチャ、ブロードバンド・ネットワーク（G.fast DSL や PON など）、データセンターのアプリケーション向けに「チップ上のクロックツリー構造」ソリューションを同期イーサネット（SyncE）、IEEE 1588v2 および汎用周波数変換に実装することができます。

Si5348 は、現在工場プログラムされたサンプルおよび量産品が 9 mm x 9 mm QFN パッケージで提供されています。Si5348 の 1 万個時の単価は、出力周波数に応じて 10 米ドルから 12 米ドル、シリコンラボの Si5348-EVB 評価ボードは価格が 399 米ドル（メーカー希望小売価格）となっています。開発者はこの評価ボードにより、デバイス構成から詳細なパフォーマンス分析、さらにカスタム部品番号の生成まで短時間で行うことができます。また、シリコンラボの Web サイトからダウンロードできる [ClockBuilder Pro](#) ソフトウェアを利用すれば、Si5348 の構成と評価も容易です。Si5348 クロック IC の詳細、サンプルおよび評価ボードのご注文、ClockBuilder Pro のダウンロードについては、www.silabs.com/clocks をご参照ください。

SyncE と IEEE 1588 は、パケット・ネットワーク経由で同期を実行する手段として、ますます広く普及しています。こうした技術が普及するなか、ネットワーク機器の設計者は柔軟性とコスト・パフォーマンスに優れ、既存のハードウェア・アーキテクチャに簡単に統合できるタイミング・ソリューションを必要としています。従来のネットワーク同期装置クロックは、サイズや電力または性能の面で最適化されていない古い Stratum 3 クロック IC から多くを借用した、厳格に動作する同期クロック・チップ・アーキテクチャに依存しています。

Si5348 が提供するソリューションは、従来の同期装置に比べ 50%の小型化、35%の省電力化、80%の低ジッタ化を実現しています。こうした利点によってハードウェア設計者は、システム・レベルの性能を損なわずにパケット・ネットワーク同期化の導入を簡略化することができます。Si5348 は、シリコンラボの定評ある [第 4 世代 DSPLL®テクノロジー](#) を活用して、IEEE 1588、SyncE、および Stratum 3 クロック要件に完全に準拠したタイミング・ソリューションにおいてクラス最高のジッタ性能を提供するため、デバイスを幅広いタイミング・カードおよびライン・カード・クロック・アーキテクチャで使用することができます。Si5348 は、外部ホスト・プロセッサで実行されている IEEE 1588 ソフトウェアと簡単に相互運用できるよう設計されており、システム統合をさらに簡略化します。

シリコンラボで、タイミング製品のマーケティング・ディレクターを務める James Wilson は次のようにコメントしています。「ネットワークは効率、柔軟性、コスト・パフォーマンスを高めるため、回線交換からパケット交換システムへと移行が進んでいます。SyncE と IEEE 1588 が広く採用されるようになったため、機器メーカーはパケット・ネットワーク同期化を追加する上でのコストと複雑性を、最小限に抑えるソリューションを設計に求めています。シリコンラボの Si5348 が提供するジッタ性能、柔軟な周波数対応、電力効率、実装面積はクラス最高レベルであり、ハードウェア開発者はチップ上のクロックツリー構造ソリューションで設計を最適化できます。」

パケット・タイミング・アプリケーションでは、ネットワーク全体の周波数、時間および位相精度に関する性能を決定する上で、安定性の高いオシレータが重要な役割を果たします。ネットワークの各ノードに必要な、TCXO(温度制御クリスタル・オシレータ)または OCXO(オープン制御クリスタル・オシレータ)のタイプは、多くの場合ネットワークトポロジによって決定されます。Si5348 はユニバーサル基準入力ポートをサポートするため、デバイスが任意の周波数の TCXO/OCXO とペアリングすることができます。

今回、Si5348 製品開発の一環として、幅広い SyncE および IEEE 1588 アプリケーションで使用可能な複合ソリューションを提供するため、シリコンラボは [Rakon 社](#) と提携しました。Rakon 社で、アプリケーション・マーケティング・マネージャを務める Ullas Kumar 氏は次のようにコメントしています。「Rakon は業界で最も幅広い SyncE および IEEE1588 アプリケーション向け TCXO および OCXO 製品シリーズを提供しています。シリコンラボとの提携により、当社は周波数、安定性、エージング、コストをアプリケーション・レベルで簡単に最適化できるタイミング・ソリューションをお客様にご提供します。」

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ (NASDAQ: SLAB 本社、米テキサス州オースチン、www.silabs.com) は、IoT(モノのインターネット)、インターネット基盤、工業制御、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーとして、エレクトロニクス産業の難題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客様に提供します。ソフトウェア及びミックストシグナル設計の分野で無類の技術力を誇る世界クラスのエンジニアリング部門を擁し、初期構想から最終製品までのプロセスを改善するために必要なツールを開発者に提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

シリコンラボ、最小ジッタのネットワーク同期装置クロック IC の新製品「Si5348」を発表

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com